

Monthly Report

希望を胸に新たな一歩踏み出す/令和3年度入学式



入学生代表宣誓・三上大翔さん(体育学科1年)

「令和3年度仙台大学第55回体育学部並びに第24回大学院入学式」は4月3日(土)、学内の第5体育館で行われ、新入生664名(体育学科386名、健康福祉学科76名、運動栄養学科76名、スポーツ情報マスメディア学科37名、現代武道学科42名、子ども運動教育学科29名、転編入生3名、大学院スポーツ科学研究科15名)が、希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

式は新型コロナウイルス感染予防対策から時間を短縮し、会場の換気も十分気遣いながら、学生と関係教職員のみの出席で執り行いました。

式典の様子は仙台大学公式YouTubeチャンネルでLIVE配信しました。(約1週間の配信)

<学長式辞・高橋仁>

ただいま、体育学部と大学院スポーツ科学研究科、合わせて664名の皆さんの入学を許可いたしました。私たちとともに、この仙台大学で、体育、スポーツ、健康科学を研究する仲間となった皆さんを、心から歓迎いたします。

本学は、東北地区唯一の体育スポーツ系大学として、「実学と創意工夫」の建学の精神のもと、「スポーツ・フォア・オール」をモットーに、自らの実践を通して学び、研究しています。本日入学した皆さんには、授業や部活動をはじめ学生生活全般において「知・徳・体」を磨き、人間力を高め、それぞれの目標を達成するよう願っています。

本学では、研究活動とともにスポーツによる地域貢献やボランティア活動にも力を入れています。10年前の東日本大震災が発生した際にも、避難所での健康運動など、さまざまなボランティアとして多くの先輩方が活動しました。これまでの復興途上の不自由な環境のもとでも、スポーツはいろいろな形で人々を元気づけ、前に進む「勇気」を与えてきました。

<目次>

・希望を胸に新たな一歩踏み出す/令和3年度入学式	1
・令和2年度仙台大学履修証明プログラム「乳幼児運動あそび指導者育成プログラム」修了式を開催	2
・仙台大学紀要第52巻第2号を発刊 ・高橋学長、明成高校新入生を激励 ・健康づくり運動サポーター認定証書授与式を開催	3
・2021年度スポーツマネジメントコース春季研修会実施報告	4
・芝草通信 NO. 24	5
・「高校スポーツの安全を守る」 Vol. 36 ・本学から4名がクリケット女子日本代表強化選手に選出されました	6
・令和3年度 新任者紹介	7 ～ 9

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報課までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報課までご一報ください。

[仙台大学 広報課](#)

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

現在、新型コロナウイルスによって、スポーツは、再び強い逆風にさらされています。しかし、コロナ禍の中で開催された昨年末のバスケットボールウインターカップでは、仙台大学附属明成高校が逆転優勝を果たし、諦めないことの大切さを教えてくれました。また、春の選抜高校野球大会でも多くの感動がありました。そして、本学では、先輩アスリートたちが1年延期となった東京オリンピック、パラリンピック大会を目指して努力を続けています。

皆さんには、コロナ禍の中で不自由な生活を強いられる面がありますが、これをネガティブに考えるだけでなく、コロナ禍におけるスポーツの価値を考え体育・スポーツ・健康を科学する貴重な機会として、前向きに捉えてほしいと思います。

「ニューノーマル」の時代におけるスポーツの在り方を研究・実践し、充実した学生生活を送ることができるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。全国各地で活躍している、本学の同窓生の方々も応援しています。

皆さんの一番の応援団はご家族だと思います。今回、ご家族の皆様には動画で入学式をご覧いただくこととなりましたが、ご協力いただき感謝申し上げます。新入生が安心して学生生活を送ることができるよう、大学として万全を期して参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

仙台大学生として、皆さんが今後大いに活躍されることを期待し、式辞といたします。

<入学生代表宣誓・三上大翔さん、体育学科1年>

本日、私たちは、伝統を誇る仙台大学への入学を許可され、誠に感激に堪えません。

私たちは、体育・スポーツ・健康に関わる諸科学を探究し、これからの時代の担い手となるよう、身体を鍛え、教養を深め、心を磨き、豊かな学生生活を送るよう、努力してまいります。

入学いたしましたうちは、学則はもとより、大学の方針を固く守り、学生としての本分を全うし、心身ともに健康で、良識ある学生となることを、ここに誓います。

令和2年度仙台大学履修証明プログラム「乳幼児運動あそび指導者育成プログラム」修了式を開催

令和2年度仙台大学履修証明プログラム「乳幼児運動あそび指導者育成プログラム」修了式が3月27日（土）に本学で行われました。

このプログラムは、運動指導の実践力を高めたい保育者（幼稚園教諭・保育士）や幼児体育指導者等を対象として「乳幼児の運動あそび」に必要な知識・技術及び技能の向上に資するための実践的・専門的な教育課程です。

全60時間を修了した7名に履修証明書が授与されました。

修了者の中には、兵庫県からの受講生もおり、遠隔授業により学修をすすめ修了式に参加した2名のほか、福井県からの受講生1名はリモートで参加しました。

式では、学長代理として子ども運動教育学科の久能和夫学科長が「生涯学習を継続していくためには三つの意（誠意、熱意、創意）が重要である」と挨拶しました。また、プログラムコーディネーターの原田健次教授は「このプログラムで学んだ運動あそびをそれぞれの職場で実践して貰うとともに、今後はそれぞれの園で指導する立場となっていくことを期待しています」と修了生を激励しました。

修了生からは「このプログラムを受講した他の園の方々とディスカッションなどを通して刺激を受けることができた。今後も継続的に情報交換をしていきたい」「このプログラムに参加して『あそび』と『運動あそび』の違いを知ることができた。学んだことを職場で実践したい」などの抱負が述べられました。

<仙台大学BP準備室>



仙台大学紀要第52巻第2号を発刊

本学では教職員等の教育研究の成果をまとめた「仙台大学紀要」を年2回（9月・3月）発行しています。このたび「仙台大学紀要第52巻第2号」を3月末に発刊しましたのでお知らせします。刊行された紀要は、本学リポジトリから閲覧できます。



高橋学長、明成高校新入生を激励

高橋仁学長は4月8日（木）、高大接続で7年間教育を実践している仙台大学附属明成高校の入学式に臨み、新入生320人の前途を励ました。

<高橋学長のあいさつ要旨>

素晴らしい校舎を活用して、充実した高校生活を送られることを願っています。仙台大学も入学した皆さんの学びを支えるために応援しています。また、明成高校の特徴は自らの進路について高校3年間だけでなく大学を含めた7年間の長いスパンでも考え、挑戦することができるということです。仙台大学にはアスリートとしてトップを目指す人、教員や公務員、警察官などを目指して頑張っている人、スポーツ栄養や福祉を学ぶ人、スポーツ情報や報道を学ぶ人、そして子供たちの運動について学ぶ人など多くの進路を目指す人がいて、学生が希望を達成できるように体制を整備しています。そして明成高校でも出前授業などいろいろな学びを支える整備をしています。本日入学した皆さんもこれからの生活の中で自分の将来について考え、挑戦することが続くと思いますが、大学での学びも参考にしながら、悔いのない毎日を送ってほしいです。



本学は随時、教員9人を明成高校に派遣。体育や調理の授業を担当するとともに、クラブ活動を指導しています。

健康づくり運動サポーター認定証書授与式を開催

本学が取り組む健康づくり運動サポーター事業は令和2年度にオンライン健康教室を企画運営し、資格認定評価会で認定された上級1名に対して4月22日（水）に認定証書が授与されました。

健康づくり運動サポーター資格は、本学が取り組む健康づくり運動サポーター事業で対象者の運動をサポートする「初級」、現場で運動指導をおこなう「中級」、運動指導と健康教室の企画運営をおこなう「上級」に分かれています。

今回、上級を取得した長谷川麗央さん（健康福祉4年）は「上級を取得したことで自信がついた。特別支援学校の教員になるためにこの経験を活かしていきたい」と抱負を述べました。

これまで延べ614名が本資格を取得しています。

<健康づくり支援班>



2021年度スポーツマネジメントコース春季研修会実施報告

報告者：スポーツマネジメントコース教員 井上望

晴天の下、毎年恒例の春季研修会を宮城県立蔵王自然の家にて4月24日（土）、25日（日）の2日間で実施しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面授業が全面的に注視されている時期であった事もあり、中止となりましたが、本年度は一部対面授業が許可されている事と感染リスクについて科学的に解明されており、適切な予防策ができるということから実施するに至りました。この春季研修会はスポーツマネジメントコースの2年生が対象で「コースの特徴を理解し、実践の力を高める」という教育方針に則り実施しており、参加学生の様子や事後のレポートから十分に教育的効果は得られたと考えています。特に現在の2年生は入学式もなく、対面授業も少ない中で大学生活を送っており、「人との関わり」が他の学年に比べて極端に少ないと言えます。そのような学生たちに「人との関わり」を持てる場を提供できた事は学生にとっても教員にとっても有意義であったと感じています。

ここまでは、良かった事を報告していますが、その裏には解決することが難しい問題もありました。それは、新型コロナウイルス感染症に対する不安感です。実はこの春季研修会の欠席者は15名（全体数65名）であり、欠席の理由については、「体調不良」がほとんどですが、数名は「新型コロナウイルス感染症に対する不安」によるものでした。この事から、実施に際しては十分な説明と感染対策を行ったが、理解が得られない場合もある事を知り、コロナ禍における集合での行事や授業の難しさを痛感しました。

あと数ヶ月もすれば、学生に対してもワクチン接種が始まり、新型コロナウイルス感染症は徐々に終息に向かっていくとは思いますが、時の流れは待ってくれません。コロナ禍以前の教育の質から落とさないようにするためにも教員が「出来る事、すべき事は何か」を多くの人たちで考える必要があります。この春季研修会を事例となり、「今できる事」を考えるきっかけになってくれればと思います。



みんなで集合写真。一瞬、息を止めてマスクを外しました



補助スタッフはコースの3年生、4年生、大学院生から募りました

5月の芝生管理について

噴水周りの高麗芝生（暖地型日本芝生）は気温の上昇とともに冬季休眠から目覚め緑色に成長してきます。

第二グラウンド寒地型洋芝は昨年秋に播種した芝草の生育が旺盛になり緑色が濃くなってきます。本来寒地型芝生は低い気温でも成育するといわれていますが、宮城県の気温は低すぎる事が多く、様々な保護対策をしなければ年間常に緑色を保つことは不可能です。主要競技場はアンダーヒーティングシステム、温風による暖房システム、LED電球を利用した光合成の促進システム、養生シートの長期使用など様々な対応をして成長を促しています。それに加えて長期間の利用制限を行うことで、エバーグリーンを保っています。

大学などの練習場では冬季でも利用希望が多くその希望を叶えると冬季期間に擦り切れやスパイクなどによる掘り起しがあり、裸地になる面積が増加します。第二グラウンドでは裸地化の激しい東側センター部分約1,000㎡だけに追い播き播種をして、その他の7,000㎡は昨年秋に播種した寒地型洋芝を成長させることで春先の寒地型洋芝の全面播種の経費を節約しました。

【参照】月間維持管理については、Monthly Report Vol.164/2019.DEC から毎月掲載済み

陸上部部活によるメンテナンスの実習

毎年春先に陸上競技場のインフィールドのクレイグラウンドのメンテナンスと天然芝生の維持管理及び噴水周りの芝生の維持管理をCER（Creative Education & Research Plan in SU）教育事業の一環として実施しています。

その一部を紹介します。



写真1 大型鉄製レイキをトラクターでけん引している不陸整正状況、遠景
<インフィールドクレイグラウンド>



写真2 大型鉄製レイキ 近景
<インフィールドクレイグラウンド>



写真3. 芝生の凹地部分に目砂を補充して木製レイキにて不陸を調整する
<陸上>も<噴水回り>も同様に作業する



写真4. 手引き式リールモア草刈り機を使用して芝草の成長の凹凸を揃える
<噴水回りの暖地型日本芝生>



写真5. 角スコープを使用して目砂が均一に散布される手法の指導
角スコープから投げ出された目砂が空中の赤丸の中に均一に分散された様子が確認出来る

（4月26日記）

川平キャンパスAT・S&CLレポート

「高校スポーツの安全を守る」 Vol. 36

担当：白坂 広子 助手

FES実施しています！

FES (Freshman Entrance Screening) とは、4月に新入生対象で行うフィジカルチェックのことです。これは川平ATRが年間活動の主軸とするもので、FESから各チームや生徒個人の身体的傾向をつかみ、弱点になる部分や怪我のリスクとなりうる身体的特徴を3年間継続して改善と向上をしていく、というスポーツ傷害予防への試みです。今月は女子バスケットボール部と女子サッカー部のFESを実施しました。新入生たちは最初は緊張していたようですが、測定の前に行うウォームアップが終わるころには体も温まり慣れてきたのか、リラックスして測定を受けていた様子でした。当日は仙台大学AT部の学生が実習に来ました。大学生は測定を通して学んだことを質問したり確認したり、良い実習時間となった様子でした。私達が行うFESは測定した結果を評価し「本人や顧問にフィードバックをする」ことが最大のポイントです。他大学や一般機関で行われるフィジカルチェックはデータ収集のためのイベントであることが多く、結果通知は本人へ渡すものの、川平ATRのように測定結果を評価し本人へ個人的にフィードバックすることはほとんどありません。私たちは、測定結果は私たちの研究データではなく、本人たちの大切な目標になると考えています。①自分の体を知り、②弱点を見直し、③継続的に改善に取り組んでいく、この3つを生徒がしっかりと取り組めるような活動をしています。春は高校総体本番に向けて練習量や対外試合も増え、身体的にも精神的にもチャレンジすることが多い時期です。この時期を生徒たちがしっかりと乗り越えられるように、私達が生徒たちひとりひとりとしっかりと向き合いたいと考えています。



本学から4名がクリケット女子日本代表強化選手に選出されました

この度、本学から4名がクリケット女子日本代表選考会に参加し、全員がクリケット女子日本代表強化選手に選出されました。

昨年に引き続き選出された、鹿野あかり（大学院2年）に加え、3名が初選出となります。

今後は2021年9月にサモアで開催されるワールドカップ予選に向けて4月下旬から活動が行われ、8月頃に日本代表チームが選出されます。






○プロフィール

	<p>◆ 出身地、高校 宮城県、開志学園高等学校</p> <p>◆ 身長 153.8cm</p> <p>◆ ポジション ウイケットキーパー</p> <p>◆ 学科 マネジメント学科</p> <p>◆ 学年 大学院2年</p>		<p>◆ 出身地、高校 福島県、福島北高校</p> <p>◆ 身長 156cm</p> <p>◆ ポジション バッツマン</p> <p>◆ 仙台大学臨時職員</p>
<p>カノ アカリ 鹿野 あかり</p>	<p>◆ 強化選手に選ばれた感想 昨年に引き続き、女子日本代表に選出されることができ大変うれしく思います。今年も、国際大会が行われるので、まずは選征メンバーに入れるよう練習に取り組んでいます。</p>	<p>ゴジマ アヤカ 小島 彩花</p>	<p>◆ 強化選手に選ばれた感想 日本代表の通知が来たときは、まさか、自分が!?と言うのが正直な気持ちでした。(信じられなくて何回もその通知を確認しました笑)。ですが、日本代表に選ばれたからには、皆さんの足を引っ張らないように精一杯頑張りたいと思います。</p>
	<p>◆ 出身地、高校 岩手県、久慈高校</p> <p>◆ 身長 154cm</p> <p>◆ ポジション バッツマン</p> <p>◆ 学科 体育学科</p> <p>◆ 学年 3年生</p>		<p>◆ 出身地、高校 宮城県、札幌新陽高校</p> <p>◆ 身長 165cm</p> <p>◆ ポジション バッツマン</p> <p>◆ 学科 体育学科</p> <p>◆ 学年 2年生</p>
<p>コマツ サナ 小松 沙菜</p>	<p>◆ 強化選手に選ばれた感想 選んでいたからには、今まで以上に気を引き締めてクリケットに励んでいきたいと思っています。次は日本代表として世界で戦うことを目標に日々トレーニングを重ね練習を頑張ります。</p>	<p>イワサキ ハルナ 岩崎 桜奈</p>	<p>◆ 強化選手に選ばれた感想 自分にはまだまだ足りないところが山あるので、いろんなものを吸収して自分の武器をしっかりと磨いていきたいです。チームに必要とされる選手になりたいです。</p>

令和3年度 新任者紹介


教員11名 事務職員4名 新助手5名 臨時職員7名 計27名の皆さんが着任いたしました。

教員


<p>まつもと ふみひろ 松本 文弘 副学長 (数学・教職・教育行政)</p> 	<p>高校に18年、県教育委員会に20年勤務し、その間スポーツ部門にも7年間携わりました。学生の若い力が地域や世界とつながるスポーツ・フォア・オールの実践により、皆さんの成長と持続的な社会の構築に貢献できるよう努力します</p>
<p>たかまさ 賞雅 さや子 教授 (保育・幼児教育)</p> 	<p>〈遊びをせんとや 生まれけむ〉 〈あそんでぼくらは 人間になる〉 子どもにとっての遊びをよく理解し、子どもたちとよく遊ぶ保育者の養成に努めたいと思います。</p>
<p>なかざと ゆたか 中里 寛 教授 (教職教養・国語科教育)</p> 	<p>地元柴田町在住です。昨年度まで中学校現場に勤務していました。専門は学校運営管理、教員養成、教員人事管理、教育心理、教育カウンセリング、国語科教育です。若い皆さんと共に学ぶのを楽しみにしています。</p>
<p>じゅうす よしみ 重巢 吉美 教授 (養護概説、養護実習)</p> 	<p>健康教育を中心として、子どもたちに関わる様々なことに取り組んできました。新たな気持ちでさらに学んでいきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>いわぶち こうじ 岩渕 孝二 准教授 (地域警察行政・警察政策)</p> 	<p>38年間、警察官として勤務し、縁あって仙台大学で勤務することになりました。 全くの畑違いながら、新たに畑を耕すことになりました。 若芽が大きく開くための一助となるように頑張りたいと思います。</p>

<p>こにし しづお 小西 志津夫 准教授 (特別支援教育)</p> 	<p>38年間、学校教育の現場におりました。特別支援学校の勤務が長く、小学校・中学校・高等学校にも勤務しました。学生と共に学びあう中で、これまでの教員としての経験を伝えられればと思います。</p>
<p>かわだ たかひろ 川田 尚弘 准教授 (体育学、身体教育学、スポーツ科学)</p> 	<p>これまでの国内外での社会活動やスポーツ活動等で得た経験を、仙台大学という素晴らしい教育の場で様々な形で還元していきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。</p>
<p>つかもと たくや 塚本 拓也 准教授 (スポーツマネジメント)</p> 	<p>国際的なスポーツマネジメント大学院プログラムでの運営経験を活かし、本学でも国際性や外部連携の強化に貢献していきたいと思えます。 どうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>
<p>まき あきら 真木 瑛 講師 (スポーツ栄養)</p> 	<p>以前は新助手としてお世話になっておりました。もう一度母校で勤務できることをうれしく思います。 他大学の管理栄養士・栄養士構成校での勤務経験を活かして大学の発展に貢献できるよう努めてまいります。</p>
<p>のぐち しょう 野口 翔 助教 (植物生態学・スポーツターフ)</p> 	<p>昨年度まで、新助手として授業補助や芝生管理業務を行っておりました。 本年度からは教員として仙台大学の発展に貢献していきたいと思えます。どうぞ皆様よろしく願い致します。</p>


助手


<p>こんぞう ひろよし 金藏 弘佳 助手 (AT)</p> 	<p>今年度より仙台大学でアスレティックトレーナーとしてお世話になることになりました。</p> <p>学生アスリートの皆さんが安心してスポーツに打ち込めるようにサポートしていきたいと思えます。</p>
---	--


新助手


<p>おいで たつや 生出 達也 新助手 (大学GT・運動栄養)</p> 	<p>この度、運動栄養学科の新助手として勤務させていただくことになりました。学生や職員の皆様と一日でも早く信頼関係を築き、仙台大学に貢献できるよう、努めて参ります。よろしくお願い致します。</p>
--	--


職員


<p>そぶ みちこ 蘇武 迪子 職員 (学生相談室)</p> 	<p>昨年度まで4年間、臨時職員として勤務しておりましたが、今年度より職員として勤めさせていただくこととなりました。</p> <p>学生の皆さんが、安心して充実した学生生活を送れるよう、お手伝いできればと思っています。</p>
--	---


<p>さんべい かずな 三瓶 和奈 新助手 (大学GT・運動栄養)</p> 	<p>今年度より運動栄養学科新助手として勤務させていただきます。1日でも早く大学職員として仙台大学の発展に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。</p>
---	--


<p>くさか あき 日下 亜希 職員 (総務課)</p> 	<p>昨年8月から派遣職員として広報室で勤務し、今年度より職員としてお世話になります。少しでも大学に貢献できるよう、何事にも誠心誠意努力して参りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。</p>
---	---

<p>さとう あやか 佐藤 彩香 新助手 (子ども運動教育学科)</p> 	<p>昨年まで子ども運動教育学科の学生として本学に在籍していました。今年度から社会人として子ども運動教育学科のサポートをさせていただき大変光栄です。学生のサポートや学科の向上の為に日々精進してまいります。よろしくお願い致します。</p>
---	--

<p>かんの まゆ 菅野 真由 職員 (会計事務課)</p> 	<p>本年度より会計事務課で働かせていただきます。</p> <p>先月、仙台大学附属明成高等学校を卒業しました。高校で学んだパソコンの知識を、仕事に活かせるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。</p>
---	--

<p>しみず しょうた 清水 翔太 新助手 (大学GT・バスケットボール)</p> 	<p>私の母校である仙台大学附属明成高校に大学GTとして勤務させていただけることを光栄に思っています。新社会人としての自覚と責任を持って精進して参りますので、ご指導よろしくお願い致します。</p>
---	--

<p>もんや ようぞう 紋谷 洋三 職員 (仙台大明成高サテライトキャンパス)</p> 	<p>今年度よりOB参与として仙台大学附属明成高校内のサテライトキャンパスで高大連携の日程調整や議案整理を行います。</p> <p>本学16回卒業生で、大学時代の一番の思い出は、レクリエーション研究同好会を立ち上げて本多弘子教授の御指導と様々な活動やレク研仲間を通して人として成長できたことです。</p>
--	--

<p>さかもと ことろ 坂本 想 新助手 (大学LR・ダンス)</p> 	<p>母校である仙台大学に、このような形で戻ってくることができて大変嬉しく思います。基本的には明成高校での勤務になりますが、保健体育の授業を通して高大接続を図っていきたく思いますので、宜しくお願い致します。</p>
---	---

臨時職員

<p>いがらし こうき 五十嵐 浩起 臨時職員 (硬式野球部)</p> 	<p>主に硬式野球部の指導、入試就職部の業務を担当させていただきます。</p> <p>本学の4年間で学んだことを生かし、少しでも貢献できるように精一杯勤めさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p>	<p>こじま あやか 小島 彩花 臨時職員 (機構)</p> 	<p>今年度より、スポーツ健康科学研究実践機構に勤務させていただきます。</p> <p>1日でも早く仕事を覚え、皆さんの戦力となれるよう頑張ります。至らない点多々あるかと思いますがご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。</p>
<p>すえもと しょうや 末本 翔也 臨時職員 (硬式野球部)</p> 	<p>今年度より臨時職員として働かせて頂くことになりました。</p> <p>学生がよりよく学校生活を送れるように、全力でサポートしていきたいと思えます。仙台大学の発展に貢献できるように精一杯頑張ります。</p>	<p>おくだ ひろき 奥田 大喜 臨時職員 (学生支援課)</p> 	<p>今年度より、学生支援課で臨時職員として働かせていただくことになりました。</p> <p>中国瀋陽師範大学の大学院入学までの間、国際交流を含め様々な面で貢献できるように精進して参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。</p>
<p>おりはら ゆめ 折原 悠芽 臨時職員 (女子ハンドボール部)</p> 	<p>今年度より、臨時職員として勤務させていただくことになりました。女子ハンドボール部の指導をさせていただきます。仙台大学の発展、また女子ハンドボール部の競技力向上に貢献できるように精一杯取り組みます。よろしくお願い致します。</p>	<p>くろさわ りくと 黒澤 陸 臨時職員 (男子バレーボール部)</p> 	<p>今年度から臨時職員として勤務させていただきます。主に男子バレーボール部のコーチとして活動します。学生の皆さんとバレーボールを通して、共に学び成長していきたいと考えています。よろしくお願い致します。</p>
<p>いとう ゆうた 伊藤 悠汰 臨時職員 (学生支援室)</p> 	<p>今年度から学生支援室で勤務させていただきます。伊藤悠汰と申します。学生が楽しい学生生活を送れるように全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願い致します。</p>		